

電子入札システムで利用するソフトウェア(8.0)の無効化手順について

電子入札システム端末を電子入札以外に利用する場合のセキュリティ対策として、JREの利用を無効化する手順を以下に示します。

なお、JRE無効化後に改めて電子入札システムを利用する場合は、JREを有効化させることが必要ですのでご注意ください。

※無効化、有効化作業の前には、必ず Internet Explorer を全て閉じてください。

① コントロールパネルを開く

【Windows8.1の場合】

画面左下にある Windows の「スタート」ボタン上で右クリック

【Windows10の場合】

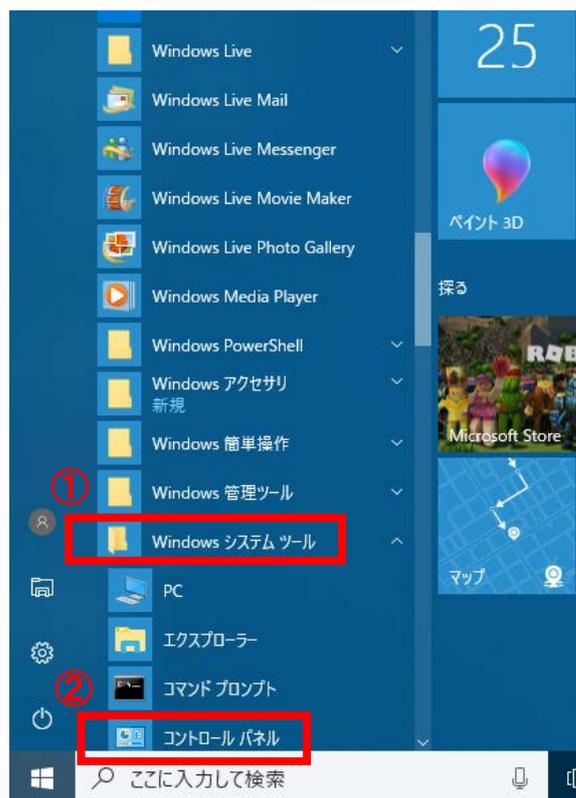
画面左下にある Windows の「スタート」ボタンをクリック→「W」の「Windows システムツール」をクリック

② 「コントロールパネル」をクリックする。

【Windows 8.1 の場合】



【Windows 10 の場合】

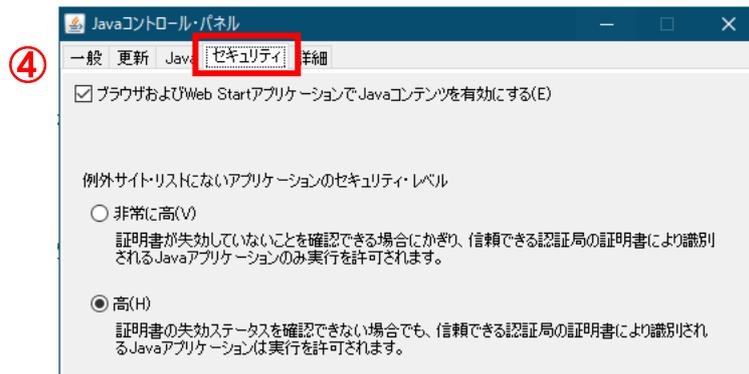


② 「コントロールパネル」内の、「Java」という名前の入った、アイコンをクリックする。

※【Windows8.1、Windows10】を利用中で、コントロールパネルの画面右上に「表示方法：カテゴリ」と表示されている場合は、文字部分をクリックし、「小さいアイコン」もしくは「大きいアイコン」のどちらかに切り替えてください。

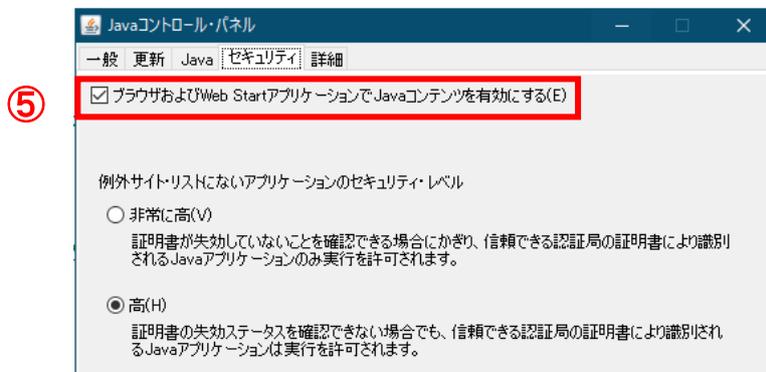
④ 「セキュリティ」タブをクリックする。

◇Java コントロールパネルの画面

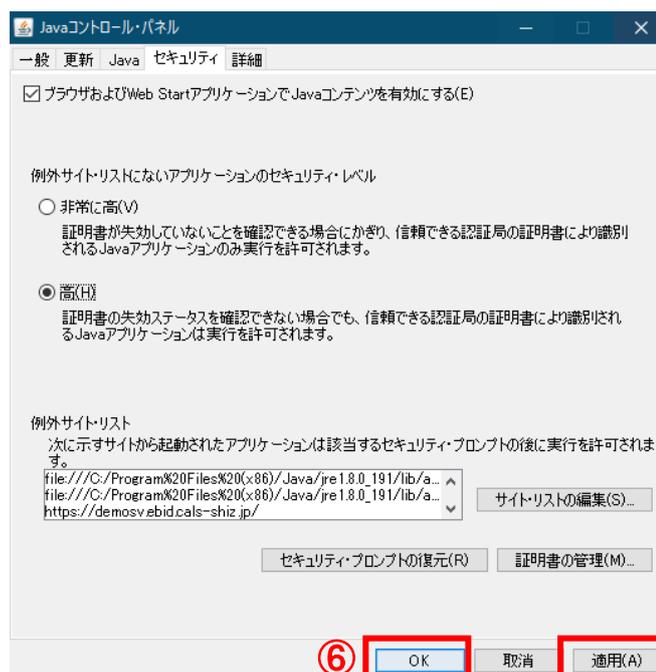


⑤ [ブラウザおよび web Start アプリケーションで Java コンテンツを有効にする]のチェックを外す。

※電子入札システムを使用する際は、チェックを入れてください。



⑥ [適用] [OK] を押下する。



～以上～